

## 編集後記

●特集1は、教育相談にかかわる人にとって避けることのできない、不登校がテーマです。「避けることができない」とネガティブに書いてしまいましたが、吉本先生の「不登校の子どもの出会いは、教師としての成長のチャンス」というタイトルのとおり、ポジティブな意識で出会うのが、まずは基礎・基本なのだと思います。

●「人ってさ、長所で尊敬されて、短所で愛されるんだよ。だから、どっちも大事なんだよ」。森沢明夫の『癒し屋キリコの約束』という小説の一節です。短所を必死に隠そうとしている人は、愛されるべきところまで隠してしまっていて、人間性の半分の側面しか人に見せないから小さく見えてしまう、と続きます。特集2は自己開示がテーマです。自己開示のリスクに配慮しながら、安心できる空気をつくり、自己開示の勇気を支えられるといいですね。(こ)

## 次号のお知らせ

### 特集1 「特別な配慮が必要な子」をクラスに説明するとき

「特別な配慮が必要な子」をクラスに説明するとき、どんなことに気を配りながら、どんなふうクラスの子どもたちに説明するか。説明するときを使うパワーポイントの資料も提供します。

### 特集2 教育相談のスキルが「主体的・対話的で深い学び」を支える

「学級経営も教科の授業も、原点は『学校教育相談』的視点です」との声を聞きます。「主体的・対話的で深い学び」を教育相談のスキルがどのように支えているか、具体的に紹介します。



# 月刊学校教育相談

2017年 平成29年 4月号

定価 800円 (本体 741円)

2017年4月1日発行

●発行所

## ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

## ほんの森掲示板

・1月増刊号の『一瞬で良い変化を起こす 10秒・30秒・3分カウンセリング すべての教師とスクールカウンセラーのために』(半田一郎/著)はいかがでしたか。学校現場で実際に「使える」ことをめざした本です。①ごく短い時間でできる、②日常のさまざまな場面で活用できる、③自分一人のできる、④カウンセリングの考え方や理論に基づいている、という特徴をもった工夫の数々が紹介されています。

この増刊号が単行本になりました(裏表紙の広告参照)。お知り合いにおすすめていただけますと幸いです。

●本誌の2017年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ※詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索